



No.207

〈編集・発行〉社会福祉法人 小海町社会福祉協議会 / 〒384-1103 長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地 TEL. 92-4107(代) FAX. 92-2457

## 長野県共同募金会小海町支会より 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動結果報告

### 令和5年度赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金集計表

NO	地区分団名	合計	NO	地区分団名	合計	NO	地区分団名	合計
1	本間下	113,500	13	八那池	141,000	25	卒道	32,000
2	本間上	96,800	14	松原	97,000	26	笠原	15,000
3	宮下	43,000	15	芦平	26,000	27	宿渡	32,500
4	本間川	60,000	16	稲子	84,500	28	土村南町	96,100
5	溝の原	34,000	17	二タ小池	68,000	29	土村旭町	67,000
6	五箇	12,000	18	箕輪	22,000	30	土村栄町	96,000
7	杉尾	30,000	19	芦谷	82,000	31	土村清水町	57,000
8	馬流元町	60,000	20	小海原	14,500	32	東馬流	123,558
9	馬流高根町	36,000	21	中村	31,000	33	大州	18,000
10	馬流本町	47,000	22	本村	103,000	34	大畑	68,000
11	馬流清水町	42,000	23	親沢	122,500			
12	鑑掛	100,000	24	川平	54,000		合計	2,124,958

日赤奉仕団員の皆様が伺い集めさせていただきました赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動は2,124,958円の心温まる募金が集まりました。長野県共同募金会に納めさせていただきました、地域の助け合いや福祉活動支援等に使われます。奉仕団員の皆様をはじめ、皆様のご協力ありがとうございました。

## 小海中学校 福祉体験学習

12月21日に、小海中学校1学年の皆さんと福祉体験授業を行いました。当日は、町のボランティアの方にもご協力をいただき、○車いす体験 ○不自由さ体験（視覚・聴覚・高齢者疑似体験）を行いました。

車いす体験では、初めて車いすを操作する生徒さんが多く戸惑う場面もありましたが、考えながら行動をしていた姿が印象的でした。



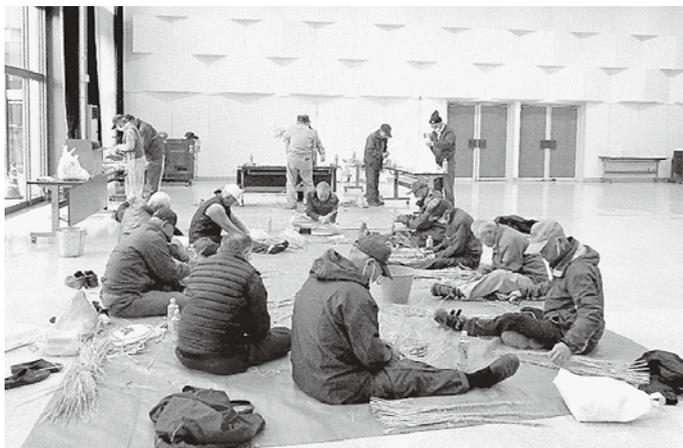
不自由さ体験では、目隠しをして靴を履いたり、軍手をはめて折り紙を折ったり等、いつもは当たり前前に出来ていることも時間がかかったり、思うようにいかなかったり、大変さや怖さへの理解が深まった気がします。

福祉体験学習は話を実際に聞き、疑似体験をすることで福祉を身近に感じ自分たちに何が出来るかを考える大事な機会です。誰もが暮らしやすい町づくりのために今回の体験が今後につながっていくことを願っています。



# 小海町シニアクラブ連合会 「しめ縄づくり」

小海町シニアクラブ連合会では、毎年暮れに、しめ縄づくりを行っております。今年度は、12月19日に総合センターで行いました。わら、松、豆がら等を持ち寄り、昆布、炭、みかん、紙垂を付けた三間ものや、棒締めなどをつくり、小海町役場、交番などの公共機関や施設など



に配り、飾っていただきました

ので、皆さんの目にも留まったかと思います。しめ縄の「しめ」という言葉は、「神様の占める場所」という意味があるとされ、自分の家が、年神様を迎えるのにふさわしい神聖な場所であることを示すために始まったといわれています。

12月20日には、小海なかよし児童館で、世代間交流ということで、児童と一緒に行いました。これからもシニアクラブでは地域の伝統である「しめ縄」づくりを、子ども達や地域に伝えていきたいと思っています。

## 令和6年 能登半島地震義援金募金

1月4日小海町新年祝賀式において、1月1日に発生した能登半島地震における義援金の募金活動を行いました。

参加された皆様から心温まるお言葉と義援金の募金をしていただきました。

この時集まった義援金12万4,835円は、日本赤十字社を通じて被災地へ送金いたします。ご協力ありがとうございました。

また募金箱は、役場、楽集館、八峰の湯、JR小海駅、社会福祉協議会（やすらぎ園）の5カ所に設置しておりますので引き続き宜しく願いいたします。

### 令和5年度 ご近所支え合い講座のお知らせ

## 知っ得！納得！健康づくり

つながる地域、広がる健康

- \*日 時 令和6年3月10日(日) 13:30～(受付13:00～)
  - \*場 所 小海町総合センター 多目的ホール
  - \*講 師 からだ康房 代表 倉地洋輔 氏  
(介護予防認定理学療法士)
  - \*参加対象 小海町にお住まいの方、小海町で働いている方
  - \*参加費 無料
- 参加申込…3月1日(金)までに社会福祉協議会 (92-4107) へお申し込みください。

### 善意銀行御礼

(令和五年五月～十二月)

- |                  |                 |                 |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 篠原 守彌 様<br>(本間上) | 山浦 久敬 様<br>(五箇) | 篠原 久よ 様<br>(本間) |
| 根っ子の会 様<br>(杉尾)  | 森 稔 様<br>(東馬流)  | 井出 尚子 様<br>(土村) |

皆様からのご厚意に御礼申し上げます。





# 車イス・AED講習会を行いました



令和5年12月12日、小海つながり隊主催の車いす講習会を開催しました。

講習会には、ボランティア7団体から20名の方が参加され、日ごろのボランティア活動や日常生活にいかせられる基礎知識を学びました。

第一部で社協職員による車いすの取扱い講習や実際に車いすに触っていただき介助者・利用者になっていただき体験をしてもらいました。

また、第二部においては、佐久広域連合南部消防署員によるAED操作方法と心肺蘇生法について学びました。

参加されたボランティアの皆さんは、「車いす体験は、簡単のようで難しかった。」「介助者・利用者の気持ちを理解することができた。」などの感想がありました。

また、AED操作方法と心肺蘇生法では、「消防署員の方の丁寧な説明や指導によく理解できた。」「有事の時に冷静になって行動ができるかどうか分からないが、非常に勉強になりました。」との感想がありました。

今後も引き続きボランティア活動にいかせる講習を計画していきます。

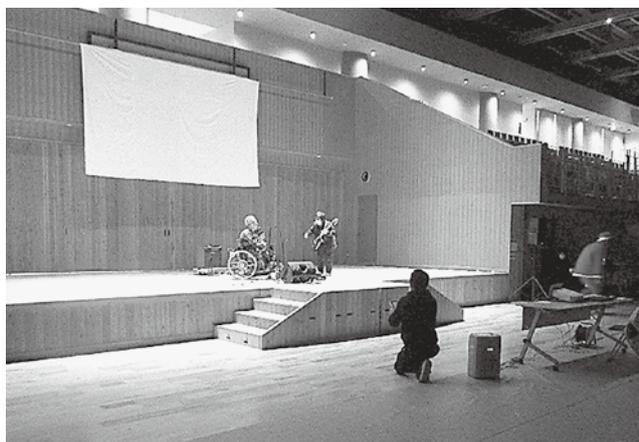


# 第39回 佐久地区ボランティア・地域活動フォーラムが開催されました

「第39回佐久地区ボランティア地域活動フォーラム」が12月17日に佐久市の県立武道館を会場に開催されました。

今年は4年ぶりに一つの会場で佐久地区のボランティアさんが一堂に会する機会となり、小海町では23名が参加しました。

今年は、東京パラリンピックの際に布袋寅泰さんと共演した、ギタリストの川崎昭二さんのトーク&ライブで、音で語る「ふ・く・し」という講演でした。



川崎さんは幼少の頃、原因不明の発熱により手足が麻痺し、車いす生活になったそうです。高校生からギターを始めて、独自の演奏方法を編み出し、今では一人のギタリストとして大活躍されていると共に、長野県社会福祉協議会の職員でもあります。プロ意識が高く、とても前向きな川崎さんに参加者は魅了され大好評でした。



参加者からは

- ・パワーをもらいました。
- ・素敵なメロディー心に響きました。
- ・生きる勇気を与えてくれるお話でした。
- ・これからも活躍して皆さんに力を与えてください。

などの感想がありました。

また、各市町村の障がい福祉施設の手作り品などを販売する「作業センター屋台村」も開設され、10団体が参加されました。小海町からも「はあーと工房ポッポ」、「ひまわりわーくす」が出店しました。障がいがあっても、年をとっても、子どもも大人も、誰もが暮らしやすい地域について考える事ができた今年のフォーラムでした。

